

●地域経済レポート特集号／REGIONAL ECONOMIC REPORT

マルシェノルド

第36号



進化する「道の駅」

1993年から登録が始まった「道の駅」。全国で1,079駅、北海道には117駅（2015年11月現在）が登録されています。ドライブの途中に立ち寄って休憩をしたり、交通情報を入力するだけでなく、近年は地場の農産物や加工品などを購入するためにわざわざ出向くという人気スポットになっている「道の駅」もあります。地域振興の拠点としても大きな役割を担うようになっていきます。地域経済の活性化や防災拠点など、これから期待される「道の駅」のあり方について考えてみます。

Contents

座談会

「道の駅」と地域の活性化	1
二セコ町長 片山健也氏／弟子屈町長 徳永哲雄氏／恵庭市長 原田裕氏 ／北海道大学公共政策大学院特任教授 小磯修二氏	

寄稿

地域経済の活性化に資する「道の駅」のあり方	11
公益財団法人日本交通公社 主任研究員 川口明子	

地域事例

水産資源を生かした「道の駅」	17
～「道の駅萩しーまーと」～	

レポート

注目される「道の駅」の防災拠点機能	22
-------------------	----

お知らせ

お知らせ	26
外国人旅行者をおもてなしませんか？	27
～北海道ドライブ観光パス社会実験	

表紙の切り絵作家

三苦 麻由子 *Mayuko Mitoma*

東京都出身。武蔵野美術短大卒業後、広告代理店勤務などを経てフリーに。1994年札幌へ。みとまゆこのペンネームで、水彩、ペン、墨絵、切り絵など、さまざまなタッチでジャンルにこだわらず活躍中。本誌の表紙は、本号テーマ・イメージによるオリジナル作品。